

情報セキュリティ方針

当社の定める「**情報セキュリティマネジメントシステム**（ISMS と略す）」は、事業・組織・所在地・資産・技術の特徴の見地から、以下を満たして定義し、活動を推進する。

1【情報セキュリティ方針宣言文】

株式会社 大風印刷は、情報産業の一翼を担う印刷産業の一員として、お客様との信頼関係の上に成り立っている。

当社がお客様のベストパートナーとして、印刷技術・製品品質・生産性及び組織の信頼性において常に高いレベルの製品及びサービスの提供を保証するために、次を経営理念の一つとして掲げる。

「お客様との信頼関係を保ち、誠意を持って短納期、高品質、多種少量のニーズに応えられる会社」

この理念の実現を事業目的の一つとし「**情報セキュリティ方針**」を定める。

ここに、情報セキュリティに関して全社的な意思統一を図り、製品サービス並びに情報資産の適切な保護・利用・完全性の確保を徹底し、お客様の製品情報や当社の経営資産を、想定できる数々の脅威から保護する。

また、情報資産をお客様の要求や法令及びその他規制要求及び当社の規定に従い保護するために、現在及び予測される情報セキュリティの脅威環境を分析し、各種管理策を定め適用する。

さらに、情報セキュリティのための管理目標を定め、目標を達成することの重要性を認識して業務を遂行し、情報セキュリティ目的を実現させる事で当社の事業目的を実現する。

そのための一つとして、リスクアセスメント体系を確立し保護すべき有形・無形資産を明確にする。

代表取締役を含む役員および従業員ならびに当社と業務契約を締結している事業者は、本趣旨を理解し、遵守する。

2014年6月1日

株式会社 大風印刷

代表取締役社長 大 風 亨

2【適用範囲】

当社の提供するすべての製品・サービス及びすべての業務活動に適用する。

- ・印刷製品の設計・開発及び製造（プリプレス、プレス、ポストプレス）
（例：出版印刷物、商業印刷物、事務用印刷物、帳票印刷物など）
- ・デジタル情報メディアの設計・開発および制作
（例：製版データ・ホームページ・DVD/CD-ROM）
- ・イベントプロデュースに関わる設計・開発とサービスの提供

- ・ 出版（例：一般図書、フリーマガジン「gatta!」など）
- ・ 封入・封緘・発送サービス
- ・ 上記製品及びサービスの部分提供
（例：取材サービス・撮影サービス・データ入力・テープ起こし・画像データ及び動画データの作成、データ変換など）

○認証範囲に含まれる事業所

本 社	山形県山形市蔵王松ヶ丘一丁目 2 番地 6
天童営業所	山形県天童市久野本四丁目 16 番 2 号
東根営業所	山形県東根市中央二丁目一番地 5 号
仙台営業所	宮城県仙台市太白区八木山東一丁目 16 番 20 号
東京営業所	東京都千代田区岩本町二丁目 4 番 5 号
Gatta House	山形県山形市あこや町一丁目 4 番 4 号

3 【情報セキュリティの定義】

当社の情報セキュリティは、当社の方針・プロセス・手順・組織構造、並びにソフトウェア及びハードウェア機能を含む一連の事業活動に対して、適切な管理策を実施する。

これらの管理策は、当社固有のセキュリティ目的及び事業目的と合致することを確実にし、セキュリティを確立・実施・監視・レビュー及び改善する。

4 【当社のセキュリティ目的】

当社固有のセキュリティ目的を次に定める。

『各種の形態・手段で製造・提供した製品・サービス及び情報の「機密性」「完全性」「可用性」を確実にすることを通じて、当社の事業目的そのものを実現する』

5 【ISMS 組織の役割と義務】

代表取締役社長は、当社代表として全責任を負う。取締役は、当社 ISMS を主導し明瞭な方向付けを行なう責任を負う。社長は管理責任者を任命し、実務を代行する ISMS 事務局を組織し、ISMS の構築及び維持に対し実行責任と権限を委譲する。

- ・ 社長は、管理責任者、ISMS 事務局長及び部門管理責任者・内部監査員を任命する
- ・ 管理責任者は、社長代行として実行責任と権限を持ち内部監査員を統括する
- ・ ISMS 事務局長は、情報システム管理責任者を任命する
- ・ 課長職者は、部門管理責任者とし責任部門の ISMS の実践の責任と権限を持つ
- ・ ISMS 事務局員は、情報システム管理責任者としての役割を兼務する
- ・ 情報システム管理責任者は、当社 ISMS の技術的側面での確立・維持の権限を持つ
- ・ 管理責任者は、部門管理責任者の会議活動を通じて各階層の調整を図る。
- ・ 当社の取締役及び従業員は、ISMS の目的を理解するとともに遵守する事で顧客の期待する情報セキュリティ目的を実現させる
- ・ ISMS 事務局は、ISMS 目的からの逸脱及び例外的な活動には、適切に取扱いする仕組みを構築する

6【リスクの特定と情報セキュリティ目標】

当社 ISMS は、当社で定めた手順でリスクアセスメントを実施し、当社に関係する製品・サービス及び情報資産への想定される脅威及び脆弱性に対するリスクを特定し、特定したリスクに対し最適なセキュリティ管理目的及び管理策を決定し、それを代表取締役社長が承認し実施する事で、セキュリティ目的を実現させる。

●情報セキュリティ目標

「リスクアセスメントによって特定したリスクを、定めた受容可能なリスク水準以下に軽減することを通じて、事業目的の実現を図る」

この情報セキュリティ目標を実現するため、各階層で組織の確立および教育・訓練、分析・見直し・改善のシステムを確立し実行する。

7【従業員の義務】

当社従業員は、「情報セキュリティ方針」「情報セキュリティマニュアル」および関連する各種規定・要領を遵守して業務の遂行にあたる。

8【個人情報保護】

「個人情報保護に関する法律」を遵守し、顧客及び社内の個人情報を保護し利用する。

9【顧客との契約、および法令及びその他規制要求事項の遵守】

当社は顧客との契約、法令及びその他規制要求事項を遵守し、顧客並びに当社の製品・サービスおよび情報資産を保護するためにセキュリティ管理策を実施し情報を管理する。

10【マルウェアからの保護】

当社内の情報機器・モバイル機器及びテレワーキングでは、マルウェアからの保護を確実にする必要な管理策を実施する。

11【製品・サービス並びに情報の完全性の確保】

当社で取り扱う、製品・サービスの完全性を確実にするために、ISMS に品質確保のためのサブシステムを組み込み、製品・サービス並びに情報の完全性を確実なものとする。

12【機密保持誓約】

当社は、常勤・非常勤にかかわらず当社に籍を有する要員すべて、及び外部業務委託事業者並びに当社と関わりを有する他の事業者と「情報セキュリティに関する誓約」を表明し、誓約遵守を通じて情報保護を確実なものとする。

13【教 育】

セキュリティに関する教育・訓練及び意識向上の活動は、代表取締役社長の指示のもとに計画的に活動を行う。

これには、法令及びその他規制要求事項の教育を含む。また、必要によっては、外部業務委託事業者に対しても実施する。

14【事業継続管理】

事業継続管理の手続きを想定し、回復管理策を準備することで、なんらかの要因で事業の継続が中断する可能性に至った場合は、発生するリスクを許容可能なレベルに抑える手順を実施して事業中断の回避または影響を最小限にすることをめざす。

15【情報セキュリティインシデントに対する対処】

当社で定めた情報セキュリティ方針から逸脱する行為、または予期せぬセキュリティインシデントを検出した場合は、顧客を含めて適切な処置を実行する。

必要な場合は行政機関または対象機関に報告する。また、事態の収集のために当社および当該組織が定めた手順に従い、公平かつ公正さを確保して、罰則も含めて適切且つ安全に対処する。

16【情報セキュリティ方針及び活動の周知】

「情報セキュリティ方針」は、一般に公開する。また、方針に基づいた各種のセキュリティ個別方針群を、当社 ISMS 関連規定に定め確実な活動にする。

【採用するセキュリティ方針群】

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| ・アクセス制御方針 | 「アクセス制御管理規定：ISMS-228」 |
| ・情報分類方針 | 「リスクアセスメント手順書：ISMS-A-01」 |
| ・物理的及び環境的セキュリティ方針 | 「セキュリティ区画管理規定：ISMS-219」 |
| ・資産利用の許容範囲方針 | 「文書管理規定：ISMS-201」 |
| ・クリアデスク・クリアスクリーン方針 | 「アクセス制御管理規定：ISMS-228」 |
| ・情報の転送方針 | 「情報交換管理規定：ISMS-227」 |
| ・モバイル機器及びテレワーキング方針 | 「アクセス制御管理規定：ISMS-228」 |
| ・バックアップ方針 | 「システム維持管理規定：ISMS-224」 |
| ・ソフトウェアインストールと使用方針 | 「システム維持管理規定：ISMS-224」 |
| ・マルウェアからの保護方針 | 「ウイルス対策管理規定：ISMS-222」 |
| ・技術的脆弱性の管理方針 | 「システム維持管理規定：ISMS-224」 |
| ・暗号による管理策方針 | 「かぎ及び暗号管理規定：ISMS-229」 |
| ・通信のセキュリティ方針 | 「ネットワーク管理規定：ISMS-225」 |
| ・個人情報保護方針 | 「個人情報保護管方針：ISMS-002」 |
| ・供給者関係における基本方針 | 「供給者アクセス管理規定：ISMS-218」 |

17【情報セキュリティ方針および方針群の見直し】

「情報セキュリティ方針」は、管理責任者および定期の内部監査およびマネジメントレビューによって見直し、環境の変化に適応した常に有効性を保有した ISMS を実現する。
同様に、各方針群は管理責任者が各種規定を見直す。

以上